

輝け！清流魂

生徒会便り
第3号
H27.7.15

仲間と支え合った 初めての中学生生活

僕は、1学期を振り返って、一番がんばった事は、体育大会です。特に、100m徒競走と、台風の日です。100m走は、フォーム、スタートの体勢などを、気にして走ることができました。



台風の日は、最初は親と一緒にがんばることができ、子供だけのときは、帰る時もまわったので、かなり疲れました。みんなと、一緒にがんばれたのでよかったです。
(藤本 祥城)



鹿北中のリーダーとして

総務委員会の活動の中で、一番成果がでたと思うのが、期末テスト前の呼びかけです。期末テスト前は、分らない問題を友達や先生に聞いている人が多



くいました。三年生は受験も近づいているので、これからも呼びかけていきます。そして、6月に、命のアンケートを実施しました。



クラスごとに、改善点と良い点を見つけたので、それを全員に伝え、鹿北中全体が向上していくように、呼びかけなどをがんばっていきます。(古川祥大)

次は私たち二年生が！

僕が特に心に残っているのは山鹿市中体連大会です。結果は、一回戦は見事に勝ち、二回戦は負けてしまったけど、すべて出し切ったのでよかったです。

来年に向けては、今年以上の結果を目指にしたいと思います。そのために、ちゃんとこれから声を出し、一年を引っ張っていき良いチーム



を作っていくたいです。(中村 流星)

被災者から支援者へ

6月4日、6日、生徒会代表の伊藤くんと田中くん、生徒会担当の福山先生が、東日本大震災の被災地である、気仙沼市に視察に行きました。

鹿北中では、「被災者から支援者へ」を防災教育の柱の一つに掲げています。夏休みの防災キャンペーンを通して、日頃から私たち中学生にできることは何かをしっかりと考えていきたいと思っています。

